

～きっかけ

Use **きっかけ** to express the factor or reason for why something happened that led to a new beginning or change.

For example:

日本のドラマを**きっかけ**として、日本文化に関心を持つようになった。

I became interested in Japanese culture after watching Japanese dramas.

もっと例文を確認しましょう！

(1)小学生の投書が で、駅前の公園をきれいにしようという活動が始まった。

A letter from an elementary school student led to the start of an activity to clean up the park in front of the station.

(2)彼と友人になったのは、入学式で隣に座ったことが だった。

I became friends with him when I sat next to him at the entrance ceremony.

(3)私が昆虫学者を目指した は、子どものときに夢中で読んだ『ファール昆虫記』です。

What inspired me to become an entomologist was the book Fabre Insects, which I was fascinated by when I was a child.

～る/～たからには

Use **からには** when you want to say, with strong emotion, something like "it's natural because ~ is decided / a fact; something should be done; you intend to do something; when you order someone to do something."

For example:

冬、山に登る**からには**、日頃からトレーニングを続ける必要がある。

Climbing a mountain in winter requires regular training.

やってみましょう！

- 1)この店で働く (a.からには b.からといって) 扱う商品についてよく勉強しなければならない。
- 2)年齢が若い (a.からには b.からといって) 能力が低いと思ってはいけない。
- 3)インフルエンザはちゃんと (a.治ったからには b.治ってからでなければ) 学校へ来てはいけない。
- 4)写真家になると (a.決めたからには b.決めてからでなければ)、苦しいことがあっても、認められるまでがんばれ。
- 5)わざわざ休みを取って旅行に来た (a.からには b.からといって)、思いっきり楽しんで帰ろうよ。

ふつうけい+わけではない

PI + わけではない
わけじゃない
[なA だな N だの]

Use "～わけではない" when you make a denial as in "that's not the situation; it doesn't feel like that; not for that reason." Use it when you refute another person's idea or a typical judgment as in "病気が治ったわけではない". You can also use it when you do not want to say that something is 100% for sure, as in "嫌いなわけではない".

For example:

あのレストランはおいしいわけではないのに、いつも込んでいる。

That restaurant isn't that good, but it's always crowded.

やってみましょう！

- 1)ゲームが好きだが、毎日している(a.わけではない b.に違いない)。
- 2)こんなにいい天気だから、雨が降る(a.わけではない b.わけがない)でしょう。
- 3)A:彼は優しいから、謝れば許してくれる(a.わけじゃない b.んじゃない)?
B:謝ればつでも許してもらえる(a.わけじゃない b.しかない)と思うよ。